

武蔵村山市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)

令和7年度～令和16年度



令和7(2025)年3月
武蔵村山市

ゼロカーボンシティの実現を目指して

世界規模で発生している猛暑や豪雨、干ばつなどの異常気象や健康被害は、地球温暖化の進行が主な原因とされており、極めて深刻な問題となっています。

世界の平均気温は、産業革命前と比較して 1.1℃上昇している状況であり、このことを踏まえ、令和 3（2021）年に開催された国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議（COP26）では、この世界平均気温の上昇を今後 1.5℃以内に抑えることが目標に掲げられました。



我が国においては、この目標の実現のため、2050 年までに温室効果ガス排出量を全体としてゼロにするカーボンニュートラル宣言がなされているほか、東京都では、2030 年までに温室効果ガスを 50%削減するカーボンハーフを表明するなど、各方面で取組が加速しています。

本市においても、自治体としての責務を果たし、環境への負荷を抑え、我々の子ども、孫の世代により良い環境と未来を残すため、2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現に向けて全力で取り組むことを宣言しました。

本計画では、ゼロカーボンシティの実現に向けて、本市の地域特性・課題や今後目指すべき方向性を明らかにした上で、必要な対策・施策等を示すものとしていますが、これらの達成のためには、市民、事業者の皆様と行政が協働し一体となって取り組むことが不可欠であり、皆様には御理解と御協力をお願い申し上げる次第でございます。

結びに、本計画の策定に当たり、議論・助言などの御尽力をいただいた武蔵村山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定検討委員会の皆様をはじめ、アンケート調査に御協力いただいた市民、事業者の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和 7 年 3 月

武蔵村山市長

山崎 泰大

目 次

| | |
|----------------------------------|-----------|
| 第1章 計画策定の背景と基本的な考え方 | 1 |
| 1 計画策定の背景 | 2 |
| 2 計画の基本的事項 | 10 |
| 第2章 本市の現状と課題 | 13 |
| 1 本市の地域特性 | 14 |
| 2 本市の二酸化炭素排出量等の現状 | 20 |
| 3 市域の気候変動の状況と将来予測 | 24 |
| 4 本市のこれまでの取組 | 29 |
| 5 計画策定に当たっての視点 | 30 |
| 6 地球温暖化対策の推進に向けての課題 | 31 |
| 第3章 計画の目標 | 33 |
| 1 本市の目指す将来像 | 34 |
| 2 計画の目標 | 36 |
| 第4章 目標達成に向けた取組 | 39 |
| 1 基本方針と施策体系 | 40 |
| 2 目標達成に向けた施策 | 41 |
| 3 重点施策 | 58 |
| 第5章 計画の進行管理 | 59 |
| 1 計画の推進体制 | 60 |
| 2 計画の進行管理 | 61 |
| 3 指標による計画の進捗評価 | 62 |
| 資料編 | 63 |
| 1 計画の策定の経緯 | 64 |
| 2 用語集 | 70 |
| 3 温室効果ガス排出量の算定方法 | 77 |
| 4 温室効果ガス排出量の将来予測手法 | 78 |
| 5 本市の再生可能エネルギー導入ポテンシャル | 79 |

